

# 風しん抗体検査及び風しん第5期定期予防接種のご案内

厚生労働省は、平成30年の風しんの流行を受け、同年12月に、風しんに係る公的な予防接種を受ける機会がなかった「昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性」に対し、風しん抗体検査及び予防接種を行うこととしました。この事業の実施期間は、令和4年3月31日までの3年間となります。

実施にあたっては、まず、風しん抗体検査を行い、検査結果が一定の基準を満たさない《陰性》の方が、風しん第5期定期予防接種の対象者となります。

## 1 抗体検査・予防接種の対象者

### 【風しん抗体検査】

検査日時点でさいたま市に住民登録があり、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性

※過去に風しんにかかったことがある方、平成26年4月1日以降に風しん抗体検査を受けたことがある方であっても、希望する場合は検査を受けることができます。

※検査結果が、当該事業の判定基準と照合して《陰性》となる方は、「風しん第5期定期予防接種」の対象となります（本市HP《風しんの追加的対策について》の判定基準を参照）。

### 【風しん第5期定期予防接種】

接種日時点でさいたま市に住民登録があり、次の（1）、（2）のすべてに該当する方

（1）昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性

（2）風しん抗体検査の結果（平成26年4月1日以降に行った検査も含む）が《陰性》の方

## 2 実施方法（抗体検査・予防接種共通）

実施場所…風しん抗体検査・風しん第5期定期接種実施機関

厚生労働省HP《風しんの追加的対策について》をご参照ください。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index_00001.html)

なお、風しん抗体検査は、職場の健診や特定健診の機会を利用して受検することが可能です（健診先が実施機関でない場合は除く）。ぜひ、健診の機会を活用して風しん抗体検査を受けてください。



実施期間…**平成31年4月1日（月）～ 令和4年3月31日（木）**

費用…原則無料

## 3 実施時に持参する物（抗体検査・予防接種共通）

本人確認書類…生年月日や住所の印字があり、本人確認できるもの。

運転免許証、マイナンバーカード、住民基本台帳カード（住所が記載）など

クーポン券…本通知に同封しているクーポン券

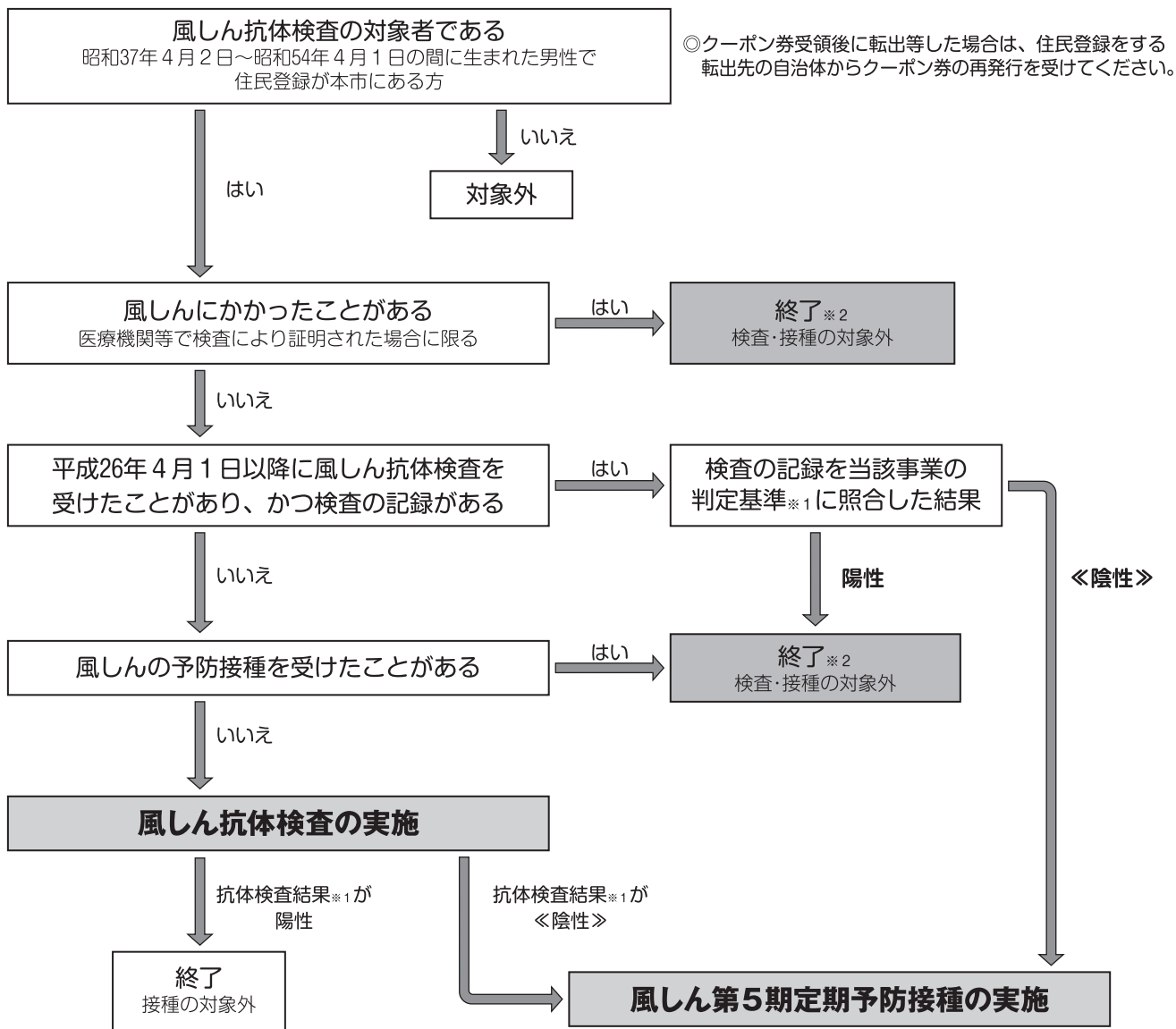
※本市では国の制度を踏まえ、有効期限を令和4年3月までとしています。

※重複して抗体検査や予防接種を受けた場合、費用はご本人負担となります。

風しん抗体検査結果書類…風しん抗体検査結果が《陰性》で予防接種を受ける方のみ

次ページもご覧ください👉

## 4 抗体検査・予防接種の流れ



※1 本市HP《風しんの追加的対策について》に掲載する、判定基準をご確認ください。

※2 上記の「終了※2」の場合においても、抗体検査を希望する方は受検できます。

〔風しん抗体検査、風しん第5期定期予防接種は必ず実施機関にて行ってください。また、風しん第5期定期予防接種は、麻疹・風しん混合ワクチンによる接種となります。〕

## 検査・接種を希望される方へ

### 1. 風しんとは

風しんは患者さんの咳やくしゃみで飛び散るしぶき（飛沫：ひまつ）を介して感染するウイルス感染症です。風しんウイルスに対する免疫が無い方が感染し、2～3週間の潜伏期間の後に、発熱、発疹、リンパ節の腫れといった症状で発症します。通常、子どもでは3日程度で治る病気ですが、まれに、血小板減少性紫斑病（3,000人に1人）、脳炎（6,000人に1人）といった重い合併症がみられることがあります。

また、発熱などの症状が無い不顕性感染という病態が、感染者の30～50%程度にあると考えられています。

## 2. 大人が風しんにかかった場合の特徴

関節痛がひどいことも特徴とされています。1週間以上仕事を休まなければならない場合もあります。

## 3. 先天性風しん症候群予防のために

妊娠初期の女性が風しんにかかると、お腹の赤ちゃんも風しんウイルスに感染し、先天性風しん症候群とよばれる病気を持って生まれてくる場合があります。先天性風しん症候群とは、生まれつきの心臓病、目がよく見えない、耳がよく聞こえないといった、心臓、目、耳などに色々な組み合わせで障害をもつことがある病気です。妊娠週数が早いほど発生頻度が高く、調査によっては妊娠の最初の1か月では100%とされています。逆に、妊娠7か月（妊娠24週）以降では、0%と考えられています。

妊婦と一緒に生活しているご家族が、妊婦への感染原因となりがちなことから、周囲の方が、予防接種を受けるなど、風しんにかからないようにしておくことも大切です。

## 4. 日本における風しんの流行状況

風しん報告数は、平成30年は2,946例、令和元年は2,306例で平成20年の風疹全数届出開始以来、2番目・3番目に多い報告となりました。

なお、令和2年1月22日現在、この流行に関連した先天性風しん症候群の報告数が5例あります。参考までに、平成25年の風しん報告数は14,344例で、この流行に関連した先天性風しん症候群は45例確認されています。

## 5. 風しんウイルスに対する免疫

風しんとよく似た症状の病気はいろいろあるので、風しんにかかったことがある記憶だけで免疫があると考えるのは危険です。

逆に、不顕性感染があるので、風しんにかかったことが無い方でも、十分な免疫を持っていることがあります。また、予防接種が始まる前は数年に一度、近年でも2004年に、比較的規模の大きな流行があり、中高年者は、いつの間にか十分な免疫を持っている方が、思いのほかたくさんいます。国が実施している感染症流行予測調査の平成24年度調査の結果によると、成人の8割の方が十分な免疫を持っていることが判っています。

## 6. 風しんの予防

発疹症状の出ている方や症状が出る数日前の方、不顕性感染をしている方が感染源となるとみられています。風しんの特効薬は存在しません。予防接種によって感染前に免疫をつけることが最も有効な予防策です。

## 7. 麻しん・風しん混合ワクチンの効果

接種することによって95%以上の方が免疫を獲得しますので、ワクチンを接種してから、麻しんや風しんの患者と接触してもほとんどの場合発症を予防することができます。しかし、いつまで免疫が持続するかについては、獲得した免疫の状況や、その後の周りでの流行の程度によって異なります。

## 8. 麻しん・風しん混合ワクチンの副反応

子どもを対象にしたこれまでの調査では、発熱（20%程度）や、発疹（10%程度）です。これらの症状は、接種後5～14日の間に多くみられます。接種直後から翌日に過敏症状と考えられる発熱、発疹、かゆみなどがみられることがありますが、これらの症状は通常1～3日で治まります。時に、接種部位の発赤（赤み）、腫脹（はれ）、硬結（しこり）、リンパ節の腫れ等がみられることがありますが、いずれも一過性で、通常数日中に消失します。

まれに生じる重い副反応としては、アナフィラキシー様症状（ショック症状、じんましん、呼吸困難など）、急性血小板減少性紫斑病（紫斑、鼻出血、口腔粘膜の出血等）、脳炎及びけいれん等が報告されています。

## 9. 予防接種を受けることができない人

- (1) 妊娠をしている女性および妊娠している可能性がある女性は予防接種を受けることができません。接種後は少なくとも2か月間は妊娠できず、女性は接種前1か月程度避妊し、確実に妊娠していない状態で接種を受けることになります。
- (2) 予防接種を受ける3か月以内にガンマグロブリン（血液製剤の一種で、重症の感染症の治療などに使われます）の注射あるいは輸血を受けたことがある人は、免疫が十分にできませんので、接種を受けることを延期する必要があります。また、大量のガンマグロブリンの注射を受けたことがある人は、6か月程度延期する必要があります。
- (3) 生ワクチン（麻しん、風しん、水痘など）の後は27日以上、不活化ワクチン（インフルエンザ、日本脳炎、A型肝炎、B型肝炎、肺炎球菌ワクチンなど）の後は6日以上接種間隔をあける必要があります。
- (4) 接種直前の体温が37.5℃以上であった人は、接種を受けることができません。
- (5) 重い急性の病気にかかっている人は、接種を受けることができません。
- (6) 麻しん・風しん混合ワクチンに含まれる成分でアナフィラキシーという重いアレルギー反応を起こしたことがある人は、接種を受けることができません。
- (7) その他接種医が接種しない方が良いと判断した場合には、接種を受けることができません。

## 10. 予防接種を受けるときに注意が必要な方（※接種については接種医と相談してください）

- (1) 先天性異常、心臓、腎臓、肝臓、血液、脳神経、発育発達の病気、悪性腫瘍など何らかの病気がある人
- (2) これまでの予防接種で2日以内に発熱がみられた方、またはアレルギーを疑う症状（全身の発疹やじんましんなど）がみられた方
- (3) これまでにけいれんを起こしたことがある方
- (4) これまでに免疫機能に異常があると言われたことがある方
- (5) ワクチンに含まれる成分でアレルギーを起こすおそれのある方（接種医にお尋ねください）
- (6) 薬や食べ物でアレルギーを疑う症状（全身の発疹やじんましんなど）がみられた方
- (7) 接種当日の体調が普段と違う方
- (8) 周囲に1か月以内に麻しん、風しん、水ぼうそう、おたふくかぜにかかった人がいる場合
- (9) 1か月以内に何か病気にかかったことがある方

## 11. その他注意すること

ワクチンを接種した人の咽頭（のど）から接種1～2週間後にワクチンウイルスが出てくる場合がありますが、周りの人にうつることはありませんので、妊婦の家族の方が接種を受けられても心配はありません。むしろ、妊婦の家族で風しんの免疫を持っていない方は、平成30年からの流行を考えると、早めに受けておくことが推奨されます。

予診票はこれまでの様子を知るための重要な情報ですので、正しく記入しましょう。接種した当日の入浴は可能ですが、接種部位を清潔に保ち、激しい運動を控え、体調をよく観察しましょう。もし、何か気になる症状がみられた場合は接種医に相談しましょう。

## 12. 予防接種健康被害救済制度について

接種を受けたワクチンの種類によっては、けいれん、肝機能障害及び急性散在性脳脊髄炎等の健康被害が生じることがあります。このような健康被害を、厚生労働大臣が、予防接種法に基づく定期予防接種による副反応であると認定した場合は、市町村が健康被害救済に関する給付を行う制度があります。

◆◆不明な点や心配なことは、各区役所の保健センターへお問い合わせください◆◆  
(午前8時30分～午後5時15分 土・日・祝日・年末年始は除く)

西 区役所保健センター TEL620-2700	桜 区役所保健センター TEL856-6200
北 区役所保健センター TEL669-6100	浦和区役所保健センター TEL824-3971
大宮区役所保健センター TEL646-3100	南 区役所保健センター TEL844-7200
見沼区役所保健センター TEL681-6100	緑 区役所保健センター TEL712-1200
中央区役所保健センター TEL840-6111	岩槻区役所保健センター TEL790-0222